

第4回定例理事会

11月21日
本部会議室
出席理事・監事・特別参与30人

「認可基準に適合」の答申 「一般社団」へ 来年3月認可

全日遊連、日遊協、日工組の3団体で進められている現行遊技機検討会、ホール関係5団体で審議されている消費税ワーキングのそれぞれ進捗状況が報告された。

(10ページに関連記事)

一般社団法人への移行について、公益認定等委員会が11月1日付で「認可の基準に適合すると認めるのが相当」との答申書を内閣総理

大臣に提出、移行が了承されたことが報告された。来年3月に移行認可書が交付されて登記が行われ、4月1日に「一般社団法人日本遊技関連事業協会」となる。

新法人の公益目的財産額は6億5900万円で、公益目的支出計画を立てて取り崩して行き、2022年3月末に公益目的財産残額がゼロになる予定となっている。

公益目的支出関係の事業は、継続事業として健全化適正化事業、社会貢献事業がある。健全化適正化事業は「警察行政との連携」「セキュリティ対策委員会及びパチンコセーフティネットの運営」「遊技産業不正対策情報機構(P.S.I.O.)の運営」「依存症対策」の4項目、社会貢献事業は「里山づくり及び自然環境学習事業」「東日本大震災被災地支援ボランティア」の2項目となっている。その他の主要な事業として、研修等事業(遊技機取扱主任者講習・試験、店長・管理

者能力開発講習・試験)、広報誌業務事業が挙げられている。

「仙台の森」第2弾を計画

社会貢献・環境対策委員会は東日本大震災で被災した海岸防災林復旧のため、林野庁の「みどりのきずな再生プロジェクト」に参画し、来年5月ごろ、仙台空港東側海岸沿いの地区(宮城県名取市)で「日遊協 仙台共生の森・第2弾」の植林を計画していることが報告された。

さる10月8日の会議で活動休止を決めた景品関連促進PTから、これまでの検討経過の報告書が提出された。この中で、「ファンが特定人気賞品以外の賞品に交換するための環境整備」として、一般の流通ルールに沿った仕組みの構築、特定人気賞品の最低価格の引き上げなど5項目からなる提言を行った。

新規入会を申請した正会員1社(ホール)、賛助会員3社の入会を承認した。これで11月21日現在、正会員341社(ホール110、機械69、販売114、景品11、その他37)、賛助会員73社、計414社と団体加盟1(同友会)となった。(17ページに新規入会会員)

正副会長・支部長会議

情報発信の重要性 「活性化P」で公式見解を

正副会長・支部長会議が11月21日、定例理事会に先立って開かれた。遊技産業活性化プロジェクトでのPRについて、PR会社が作成した戦略的PRプランが紹介された。

課題を、①羽根物を中心としたリバイバルブームの醸成 ②ネガティブイメージの払拭——の2点に絞り、その上で様々な展開を提案している。

PR会社によると、ネガティブな情報は常に発信されているため払拭は不可能で、各問題について業界全体の共通認識を図るとともに、ポジティブペーパー(公式見解)を策定してメディアに積極的に情報発信する。そのため広報体制確立が必要としている。



現行遊技機検討会の進捗などが報告された第4回定例理事会

遊技産業新経営者会議

5班がテーマ別に討議

韓担当「変化に適応し新しい時代の同志に」

第2回遊技産業新経営者会議（リーダー・西村拓郎東京都・関東支部長）が11月27日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれ、33人が出席した。冒頭、韓担当副会長が「業界はかつてない厳しい状況にある。それを乗り越えていくためには変化に適応し、今までにない枠組みをわれわれ自身が作り上げていかなければならない。ホール、メーカーを含めた若い経営者たちが新しい時代を歩んで行く同志になる、そんなきっかけにこの会議がなればいいと思う」と挨拶した。

出席者は5班に分かれ、永井猛早稲田大学ビジネススクール教授



永井教授（右端）の講演を聞く新経営者会議出席者

の講演のあと、①2020年業界の目指すイメージと妨げる壁 ②これから求められる遊技機 ③新規市場の創造 ④社員育成とモチベーションマネジメント——などのテーマで2時間近く討論した。結果は来年2月予定の第3回会議で発表される。新経営者会議は、次代を担う若手経営者・幹部たちが日遊協活動を通じて結束し、日遊協及び会員企業の組織基盤をより強固なものにして将来に継続させていくことが目的の勉強会。原則として3か月に1回開催する。

出席者は次の通り。（順不同・敬称略）

- 〔第1班〕榎本善紀（京楽産業（株）社長）、内ヶ島正規（株）高尾企画部長、新富雅哉（株）新富商事経営戦略室長、北川大樹（株）アクト社長、神保重宏（株）名古屋商事務務、山口拓馬（株）山口商事専務
- 〔第2班〕岸野誠人（東和産業（株）副社長）、富田和宏（株）ABC取締役、山田篤（株）九州エース電研営業部長、日野元太（トリックスタース・アレア）専務、有川勝紀（ジーピーエム）社長室長、蒲裕二（株）ライズ専務、山本利和（株）日進専務

- 〔第3班〕山中康敬（株）マタハリ社長、大泉秀治（株）オーイズミ副社長、早川恭彦（愛和食品（株）社長）、金光淳用（株）ヒカリシステム社長、後藤直親（株）ナオ社長、寺内大貴（株）テラウチ取締役
- 〔第4班〕里見治紀（セガサミーホールディングス（株）取締役）、林大統（ジョイパツクレジャー（株）社長室長）、栢森秀行（ダイコク電機（株）社長）、金沢学模（株）三洋販売営業本部長、増田光均（株）マンドレ社長、趙顕洙（株）三慶商事社長
- 〔第5班〕深谷太詞（フシミコーポレーション（株）常務）、東野昌一（株）平成観光社長、日野洋二（株）鉄人化計画社長、宮本茂（株）メッセ営業本部長、松谷義明（株）ビクトリア観光業務推進課長、内田忠良（ウチダ）（株）営業本部長

中古機流通PT
点検補助員制度で協議
今後のPT組織を検討へ

中古機の移動に関しホール管理者に点検補助員を新設するために、日遊協と全日遊連が検討を続けているが、その内容について経過報告が行われた。今後の中古機流通PTの方向性について、テーマ検討が一段落したので、今後PTを「連絡会的な性格の10人程度に再編成し、年3回程度の開催にしてはどうか」との提案があり、今後中村リーダーを中心に詰めていくことにした。

募集中

日遊協は11月1日から来年2月末にかけて「第4回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の作品を募集しています
対象は一般の方たち、業界の方たちを問いません
周りのお知り合いにも、是非参加を呼びかけてください

テーマ

「パチンコ・パチスロ 私の遊び方」「パチンコ・パチスロに思うこと」

- エッセー-絵手紙とも、2つのテーマから自由を選んでください
- エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください
- 絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号（携帯も可）・パチンコ・パチスロ経験の有無（ある場合はおおよその年数も）を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください

募集期間 2013年11月1日（金）～2014年2月28日（金）※消印有効

発表 2014年6月5日（木）日遊協ホームページ
<http://www.nichiyukyo.or.jp>

賞品	エッセー	最優秀賞	旅行券	30万円分	1人
		優秀賞	旅行券	10万円分	2人
		佳作	商品券	1万円分	10人
絵手紙		最優秀賞	旅行券	15万円分	1人
		優秀賞	旅行券	5万円分	2人
		佳作	商品券	1万円分	10人

備考 入賞作品の著作権は、(株)日本遊技関連事業協会に帰属するものとします

応募先及びお問い合わせ先 E-mail:bosyu@nichiyukyo.or.jp
社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局
〒104-0033 東京都中央区新川12-12-15ヒューリック八丁堀ビル2F
TEL:03-3553-4333 FAX:03-3553-4334

（応募された個人情報については、個人情報に関して適用される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません）

主催 社団法人日本遊技関連事業協会
協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合
日本電動式遊技機工業協同組合・全国遊技機商業協同組合連合会
回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

第4回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクール

屋根にパネル1660枚 (株)安田屋前橋店の太陽光発電を視察

(株)安田屋「やすだ前橋店」(群馬県前橋市)で、ホールの屋根を利用した太陽光発電設備を視察した。同社営業推進部の知念安光取締役部長(社会貢献・環境対策委員会担当理事)、施設管理担当の吉田豊課長の案内で、店舗内外の発電設備を見学し、その仕組みや導入前後の課題について意見交換を行った。安田屋ではかねてから店舗の節電に積極的に取り組んで来たが、東日本大震災の原発事故に伴う電力不足によって再生可能エネルギー活用の期待が高まる中、パチンコ店の屋根を利用した太陽光発電設備の設置を本格的に検討した。

前橋店が折板屋根でパネルを設置し易く、敷地面積も広いので発電設備が増設可能な上、地域的にも発電に適しているという理由から、同店の屋根に1660枚のパネル(155W出力)を設置した。経産省から認定を受け、東京電力と単価40円(税別)で売電契約をし、今年3月末から発電事業を開始した。

「計画上回るメリット」

10月末までの発電実績は約23万kWh(CO2換算106トン)。知念取締役は、「ホールの電力使用量に比べて太陽光の発電量は少ないが、屋根にパネルを設置することによる節電効果、グリーン投資

は、引き続き再生可能エネルギー等の情報収集を行っていく。

遊技機委員会

11月19日
本部会議室
出席委員等14人

9パートに別れ協議

「フェスタ」の展示機など

来年4月25、26日に予定される「パチンコ&パチスロフェスタ2014」(ベルサール秋葉原)の運営について、担当別に分かれて協議した。担当パートは、現行遊技機関連、過去名機関連、設備展示関連、イベント関連、アンケート関連、アワード関連、協賛企業関連、広報関連、行政・業界団体対応などで割り振りされている。

遊技機の展示についてはこれまでと同様メーカー側に協力を頼むことになるが、このうちパチンコは現行遊技機検討会(全日遊連、日遊協、日工組で構成)で議論しているコンセプトをテーマに進めることを確認した。

一方、パチスロはコンセプトが未定だが、過去・現在の遊べるパチスロ機を展示したらどうかとの意見が出された。また、過去名機の展示に関して、パチンコ博

物館(千葉県旭市)に收藏機の一部の借り出しを相談していることが報告された。行政・業界団体への対応に関して、委員会が10月以降、行政、日工組、日電協、全日遊連等へ挨拶と趣旨説明を行ったことが報告された。

日遊協流通勉強会

実態と適正化報告

日遊協の第2回流通勉強会が11月13日、本部会議室で開かれた。近畿、東京都・関東両支部の景品卸5社の代表、庄司孝輝会長、福井章担当副会長、篠原弘志専務理事、茂木欣人風営法PTリーダーら計9人が出席した。この日は、景品卸5社が都府県遊協ごとの景品流通の実態と適正化について報告した。

流通勉強会は、景品関連促進プロジェクトチーム(PT)と入れ替わる形で9月11日に初会合を開いた。景品卸業者を主体にメンバーを構成し、景品問題解決の芯になることが期待されている。一方、景品関連促進PTは11月21日の第4回定例理事会にこれまでの検討経過の報告書を提出し、正式に活動を休止した。

◀(上) 広大な屋根に設置された太陽光パネル
(下) 内部の設備を見学する委員会一行



減税、電力売買の差額等を考えると導入メリットは大きい。メンテナンスも想定以下で、発電量は導入計画以上と順調だ」という。社会貢献・環境対策委員会

現行遊技機検討会

16機種の仕事一覽

日工組が「出展可能」を報告

新しい遊べる遊技機を創造し、遊技産業の活性化をめざす「現行遊技機検討会」が11月12日、東京・市ヶ谷の全日遊連会議室で開かれ、

全日遊連、日遊協、日工組の3団体から幹部、実務者が出席した。日遊協の「パチンコ・パチスロフェスタ2014」が来年4月25、26日に開かれるが、日工組の調査に基づいて、来年3〜4月のイベントに出展可能な新・遊べる機種（12種のスペック、6つのイメージ）が報告された。メーカー名、機種名は明らかにされなかったが、16機種の具体的な仕様一覧表が提出された。その内容を検証のうえ次回会議までに、ホール側がさらに仕様の注文をまとめ、日工組に要請することになった。

協議の中で「初心者が喜ぶのは、優しい機械というだけではダメ。なにも魅力を感じるかさらに詰めた」「今の遊技者も遊びたいというものにならなければならない」「来年4月頃までの区切りでは大

幅な革新は難しいとしても、しっかりとした出発点にしたい」などの意見が出された。

すでに、新・遊べる遊技機の条件としてホール側から、好ましくない性能として5項目が上げられていた。▽表示上のTSと出玉を得るまでの実TSとの乖離、▽出

玉のない当たり、▽潜伏確変、▽継続率に特化した間口の狭い性能（高継続、低突入）、▽ラウンドフリ分けによる極端なT1Yの格差、である。昔の旧機種も含めて、この条件をすべてクリアする機種、数点条件を外す機種、条件外の機種の具体例が報告され、新・遊べる遊技機のイメージを高めた。

日遊協から、11月11日のホール関係5団体代表者会議で報告された産業キャンペーンの内容が報告された。

ホール関係5団体代表者会議

「質問事項」をまとめる 警察庁へ消費税の運用など

ホール関係5団体代表者会議と同風営法WGが11月11日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開かれ、青松英和全日遊連理事長、庄司孝輝日遊協会長、薛博夫同友会副代表理事、千原行喜余暇進副会長、金本朝樹代表理事ら5団体33名が出席した。

来年4月に迫った消費税増税にそなえて、全日遊連がまとめた警察庁への「質問事項案」について協議された。質問は、4項目10点

からなる消費税運用の留意点、確認で会議ではそれぞれの項目をチェックし、訂正、削除、補強を行った。修正をまとめて成文化し、全日遊連が警察庁に「質問事項」を提出することになった。

全日遊連、日遊協、日工組で進められている現行遊技機検討会で検討されている産業PRの「みんなで行こう」キャンペーンについて日遊協から報告があった。根本的、抜本的な政策とする必要

DECEMBER

12月の行事予定

3日 (火)	15:00~17:00	現行遊技機検討会実務者会議 (全日遊連)
4日 (水)	16:00~17:30	貯玉補償基金理事会 (グランドアーク半蔵門)
6日 (金)	15:00~15:45	インターネット広告協議会
	16:00~17:30	東京都・関東支部役員会議
7日 (土)	09:00~20:00	ぱちんこ産業合同説明会 (東京ビッグサイト)
9日 (月)	14:00~	中古機流通協議会 (全商協)
10日 (火)	13:00~15:00	現行遊技機検討会 (全日遊連)
12日 (木)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験 (更新)(東京・オーラム)
17日 (火)	15:30~17:30	遊技機委員会
18日 (水)	15:30~17:30	広報調査委員会
20日 (金)	13:30~14:30	不正対策室会議
28日 (土)		年末年始休暇 (1月5日まで)

があるとの声が多く、費用の負担などをしっかり視野に入れたうえで、5団体だけでなく21世紀会の運動にしていくことを確認した。

10月28日に説明会が行われたE C O遊技機に関しては、11月までに5団体が日工組に対する質問の追加を作成し、それを全日遊連がまとめて「5団体確認要請」として日工組に提出することになった。

セキュリティ対策委員会

PSIO要綱改訂案を提出

増え続ける「置き引き」注意

第74回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は11月26日、日遊協本部会議室で開かれた。遊技産業不正対策情報機構（PSIO）要綱の改訂案が提示された。改訂案は不正対策室で構成7団体によるチェックが済み、セキュリティ対策委員会でチェックを終えれば年明けにも承認され、4月1日に施行の運びとなる。

警察庁保安課から、「ぱちんこ屋等」での置き引きの発生件数が平成14年以降増え続けていることが指摘された。同庁生活安全企画課



ホールでの置き引き増加が指摘されたセキュリティ対策委員会

犯罪抑止対策室によると、置き引き件数全体は平成14年の7万6170件から同24年には4万3882件と大きく減っているが、発生場所が「ぱちんこ屋等」だと、14年の5528件が24年の9070件と倍近く増え、特異な傾向を示している。「ぱちんこ屋等」は7号営業のことで、マジャン屋なども含まれるが、置き引きの形態や犯行に至りやすい施設の大きさから、ほとんどがパチンコホールでの発生と見られている。また、置き引き被害の半分ほどがカードと見られており、同庁では改めてホールに注意を呼びかけた。

第37回全国育樹祭

薛委員長ら3人が出席

第37回全国育樹祭（国土緑化推進機構と埼玉県の共催）が11月17日、同県熊谷市、くまがやドームで皇太子殿下のご臨席の下に催された。全国から緑化団体や林業関係者ら約5700人が参加した。

「日遊協」で検索！

日遊協から社会貢献・環境対策委員会の薛博夫委員長ら3人が出席した。日遊協は2008年から、同県嵐山町で里山造成事業「共生の森」を推進している。

不正対策室会議

PSIO要綱改訂案を承認 セキュリティ対策委員会に提出

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は11月18日、日遊協本部会議室で委員など16人が出席して開かれ、機能的に運用するために進めている不正対策情報機構（PSIO）要綱の改訂について、

最終的な不正対策室案を作成した。前回の会議後に7団体が最終チェックし一部を修正した。不正対策室案は、11月26日のセキュリティ対策委員会に提出された。

PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。10月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から12件、一般ファンから608件の入力があった。一般ファンの入力は、昨年10月と比べると172件（昨年10月436件）増えている。